

マツオオアブラムシ

アカマツなどマツ属各種の枝先に群生するアブラムシ。成虫は茶色から濁った緑色。体長最大3mm。

多発すると枝の伸びが悪くなる。また、煤病を併発するため美観を損ねる。



1. マツオオアブラムシ (?) の成虫, 体長3mm.

2000/6/13. 北見市の街路樹のモンタナマツ.

他の文献などの写真に比べ黒すぎるので, 別種かもしれない.

【学名】 *Cinara piniformosana*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , アブラムシ科 (Aphididae)

【分布】 北海道, 本州, 四国, 九州: 朝鮮, 台湾.

【特徴】

マツ類の幹や枝につくアブラムシには4種類ほどあるが, 雌成虫の体長が3mm, 複眼が黒い, 腹部に多数の黒点がある(体毛の根元が黒い)などの点で他の種から識別できるようである.

【生態】

宿主: マツ属 (アカマツ, クロマツ, ゴヨウマツなど) .

卵越冬. 春早く孵化し, 秋まで吸汁加害を続ける. 春は枝先に寄生するが, 新梢が伸び始めると, そこに移動して加害する. 卵は黒く, 葉上に産み付けられる.

【被害】

本州では害虫としてよく知られているが, 北海道ではこれまで被害記録はないようである.

【文献】

1956. 井上元則. 北海道・東北地方の針葉樹に寄生するアブラムシ. 林業試験場北海道支場業務報告, 特別報告, 5: 204-238.
(形態, 生態, 針葉樹の他のアブラムシについても解説)
1969. Inouye, M. Revision of the conifer aphid fauna of Japan (Homoptera, Lachnidae). 林業試験場研究報告, 228: 57-102.
(形態的特徴の追加, 生活史の概要, 針葉樹の他のアブラムシについても解説)
1977. 奥野孝夫, 田中寛, 木村裕. 原色樹木病害虫図鑑. 保育社, 大阪. (形態, 生態, 防除の解説)
1983. 森津孫四郎. 日本原色アブラムシ図鑑. 全国農村教育協会, 東京. (形態, 生態の解説)
1994. 小林富士雄, 竹谷昭彦, 編. 森林昆虫, 総論・各論. 養賢堂, 東京. (形態, 生態, 被害, 防除の解説)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

マツオオアブラムシ abura/matuoo/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/2/8.

musi.JPG

「写真1」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2000.